

議会だより

平成29年2月臨時会・2月定例会版

市民のまちづくり議会とともに

250人の御参加をいただき
第3回議会フォーラムを開催



片山善博先生基調講演

主な内容

特集 「決める」のは市長でなく議会(第3回議会フォーラム)	2ページ
2月臨時市議会・2月定例会市議会	4ページ
2月定例会市議会一般質問	6ページ
委員会活動報告	12ページ
議員と市民の意見交換会開催のお知らせ	16ページ

特集

「決める」のは市長でなく議会

市民の声を聴き責任ある意思決定を

第3回議会フォーラムを2月5日、山手公民館で開催しました。「市民のまちづくり議会とともに」地方自治と住民参画」と題して、慶應義塾大学法学部教授で元総務大臣、前鳥取県知事の片山善博先生による基調講演を実施、その後、議会・委員会活動報告、市民の皆様との意見交換会を行いました。



基調講演を行う片山善博先生

《基調講演の概要》

地方自治とは、一地域を自分たちの手で切り盛りすることです。地域のことは地域の住民が責任を持って決めるということに尽きます。地域の課題を解決するため、どれを選ぶか決めないといけません。予算や課題、地域の懸案事項というのは住民が責任を持って決めていく、このことが地方自治といえます。

決めるのは市長でなく議会

今の日本の地方自治制度は基本的には間接民主制です。市長と議会の議員は、どちらも市民が選んでいるわけですが、「決める」のが、どちらかというところ、議会です。議会とは重要事項を決める役割の機関で、最終的な権限を持っています。例えば予算や条例、

教育委員の任命等も決めるのは議会です。議会が責任を持たなければいけません。

複数人の合議制である議会

議会は合議制の決定機関です。合議制というのは、複数人で決めるということです。

1人が決めるのを独任制といいます。重要なことは複数人で決める。皆で決めた方が、いい結論になります。ただし、一人一人が独立をして責任持って判断するという、これが条件です。相談してもいい、説得し合ったりしてもいいですが、最後は自分の判断です。議会の意思決定に市民の意見を

決定するためには関係者の意見を広く聴かないといけません。重要なことを決める人は必ず双方の意見、それから



質疑応答を行う参加者

第三者の意見も聴いた上で決めます。議会が重要なことを決定するには、多様な意見を聴かないといけません。議会報告会をやって、市民の皆様

の意見を聴くというものは、大きな一歩です。今までの議会は決めっ放しで、広く市民の意見を聴く場がほとんどありませんでした。また、決定機に必要要件として、決めたことに責任を持つことが求められます。決定した人は、責任を取れますかということが問われるわけです。それく

らしいの責任感を持って、決定に臨んでほしいと思います。これからの議会と住民参画 日本では限られています。議員を選ぶ選挙や議会傍聴などが挙げられます。しかし、傍聴は傍らで傍観するような仕組みになっていきます。市民が本来の主役ですから、これは変えないといけません。また、請願、陳情は、議会の議案として審査決定されますが、その程度です。一方、アメリカの議会では必ず市民に発言の機会が与えられます。住民参画というのは、重要だと思えます。



議員と市民の意見交換

それから、住民の関心事項がいつ審議、議論、決定されるかわかるようにすることも重要です。見ている人が、誰が賛成したかわかる工夫も必要だろうと思います。

《参加者との質疑応答》

《参加者》 地方では、平成の合併を経て、少子高齢化が加速している。地方創生をどのように捉えているか。

《講師》 国の施策は点検せずに繰り返されるので失敗する。自治体は国の方を向いて仕事をするのでなく、自分たちの

地域のことを真剣に考え、答えを導いていくべきだ。

議員と市民の意見交換

講演に続いて、議会運営委員会副委員長、常任委員会3委員長からの議会・委員会活動報告を実施。議会での一般質問の状況や各委員会の所管事務調査事項の経過などを報告し、議員と市民の意見交換に移りました。意見交換の主なものは次のとおりです。

《参加者》 高梁川の中州に木が育ち、森のようになっていて、洪水や決壊も危惧されるがどうか。

《議長》 高梁川は国の1級河川であり、毎年河川局への整備要望を重ねているところで、引き続き要望していく。

《参加者》 総社の文化財を大切にしないといけない。文化財の集約施設もない。取組はどうか。

《文教福祉委員長》 美術博物館の建設基金が積み立てられ始めている。学芸員の採用など

○参加者アンケートの自由意見（抜粋）

- ・片山先生の講演を参考に、市民のための議会運営を行ってほしい。
- ・議会の在り方について、市民に周知啓発する取組は評価できると思いますが、若年層の参加者が余りにも少ないのが気になります。
- ・議員からの質問に対する市当局の「検討する」などの答弁については、成果等を最後まで追及してほしい。
- ・議員は市民の代表ですから広報だけでなく、市民からの声も聴いてもらいたいと思います。

も始まっているところである。ほかにも、JRの踏切、選挙の投票率、農地取得の課題などについて質疑応答がなされました。

◎本市議会では、これからも、議会フォーラムや意見交換会などをとおして、より多くの皆様の意見をお聴きするとともに、市民の皆様が議会の審議の経過や議会活動の様子を分かりやすくお伝えしていきたいと思えます。

政策監、教育長の任命同意は賛成多数
 南北道4路線整備2億9100万円など当初予算を可決

2月臨時市議会

2月2日、臨時市議会を開き、議案1件を審査しました。議案第1号は、吉備信用金を市の指定金融機関として指定するもので、全会一致で可決しました。

2月定例会市議会

2月定例会市議会を2月27日から3月22日までの24日間の会期で開き、議案43件(左ページのとおりに)、請願2件(下表のとおり)の審査をしました。

一般会計予算は過去5年では3番目の規模に

平成29年度一般会計予算は、前年度比3・7%(10億円)減の、262億2千万円となりました。一般廃棄物最終処分場建設事業の完了等に

より、予算規模は縮小していますが、依然として厳しい財政運営となっております。**新たに空き家バンク、ひきこもり支援等、当初予算を可決**

主な事業としては、かねてから本会議の一般質問で、多くの議論がなされてきた市内南北道整備に2億9100万円が予算計上され、刑部三須線、(仮称)市道福井支線3467号道、市道上原富原線、市道刑部支線3283号道の整備が行われます。また、移住定住希望者の受入れのため空き家バンクを整備する経費304万4千円、若者を対象にした人材養成塾の開講に100万2千円、ひきこもり支援として、相談窓口や居場所の設置、就労支援などを行い、社会復帰につなげていく経費1309万4千円、総社保育

所及び井尻幼稚園を統合し、幼保連携型認定こども園を整備するため3500万円、大規模な桃生産団地を整備する果樹団地整備事業に3240万円、高梁川河川敷グラウンドの拡張等に3700万円などで、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。

教育委員、監査委員は全会一致で同意

重要施策を迅速かつ円滑に推進するため、新たに設置する常勤特別職の政策監に市職員OBの中島邦夫氏(北溝手)を任命する同意案件には、無記名投票の結果、賛成19票、反対4票により、賛成多数で同意し、また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律による新教育長に、山中榮輔氏(倉敷市)とする同意案件には、同様に無記名投票の結果、賛成17票、反対6票により、賛成多数で同意しました。さらに、教育委員に上岡仁氏(秦)を、監査委員に

風早俊昭氏(地頭片山)を任命する同意案件は、全会一致で同意されました。**固定資産評価審査委員会委員に同意、人権擁護委員候補者推薦同意**

固定資産評価審査委員会委員に赤木洋児氏(三須)、小野弘子氏(岡谷)、三原達朗氏(清音上中島)、谷井武夫氏(溝口)、西本憲次氏(岡山市)の選任、人権擁護委員の候補者に西谷正己氏(岡谷)の推薦に同意しました。

請願の審査結果

件名(不採択、趣旨採択の理由)	結果
給付型奨学金制度改善に関する請願書(給付型奨学金制度の対象者の要件撤廃は、更なる財源の確保が必要であることから、直ちに高所得者、低所得者に関わらず全ての人に奨学金を給付するというのは時期尚早であるため)	不採択
日本政府に「核兵器禁止条約の交渉会議参加と、条約実現に努力することを求める」意見書採択を求める請願(核兵器廃絶は当然に推し進められるべきで、請願の趣旨は理解できるが、廃絶に向けての動きは国際情勢を考慮しながら慎重に進められるべきものであるため)	趣旨採択

平成29年2月臨時総社市議会 付議事件採決一覧表

番号	付議事件	結果
議案第1号	指定金融機関の指定について	原案可決

平成29年2月定例会総社市議会 付議事件採決一覧表

番号	付議事件	結果
議案第2号	総社市政策監の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第3号	総社市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第4号	総社市職員給与条例の一部改正について	原案可決
議案第5号	総社市税条例等の一部改正について	原案可決
議案第6号	総社市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部改正について	原案可決
議案第7号	総社市消防長及び消防署長の資格を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第8号	総社市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第9号	総社市山手福祉センター条例の一部改正について	原案可決
議案第10号	総社市清梁園及びデイサービスセンター清梁園条例の一部改正について	原案可決
議案第11号	総社市介護保険条例の一部改正について	原案可決
議案第12号	総社市職員定数条例等の一部改正について	原案可決
議案第13号	総社市手数料条例の一部改正について	原案可決
議案第14号	平成28年度総社市一般会計補正予算(第9号)	原案可決
議案第15号	平成28年度総社市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第16号	平成28年度総社市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第17号	平成28年度総社市農業集落排水事業費特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第18号	平成28年度総社市公共下水道事業費特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第19号	平成28年度総社市国民宿舎事業費特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第20号	平成28年度総社市総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第21号	平成28年度総社市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第22号	平成29年度総社市一般会計予算	原案可決
議案第23号	平成29年度総社市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第24号	平成29年度総社市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第25号	平成29年度総社市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第26号	平成29年度総社市農業集落排水事業費特別会計予算	原案可決
議案第27号	平成29年度総社市公共下水道事業費特別会計予算	原案可決
議案第28号	平成29年度総社市国民宿舎事業費特別会計予算	原案可決
議案第29号	平成29年度総社市総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計予算	原案可決
議案第30号	平成29年度総社市水道事業会計予算	原案可決
議案第31号	平成29年度総社市工業用水道事業会計予算	原案可決
議案第32号	市道の路線認定について	原案可決
議案第33号	市道の路線変更について	原案可決
議案第34号	市道の路線廃止について	原案可決
同意第1号	政策監の任命に関する同意を求めることについて	同意
同意第2号	教育長の任命に関する同意を求めることについて	同意
同意第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて	同意
同意第4号	固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて	同意
同意第5号	固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて	同意
同意第6号	固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて	同意
同意第7号	固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて	同意
同意第8号	教育委員会委員の任命に関する同意を求めることについて	同意
同意第9号	監査委員の選任に関する同意を求めることについて	同意
意見第1号	人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見を求めることについて	推薦に同意

平成29年2月定例会総社市議会での賛否の分かれた議案等に対する賛否状況

(凡例) ○：賛成 ×：賛成でない 退：退席 欠：欠席

議案等	菅野哲也	三宅啓介	岡崎亨一	深見昌宏	小川進一	高谷幸男	小西義巳	難波正吾	小西利一	津神謙太郎	村木理英	頓宮美津子	赤澤康宏	片岡茂夫	塩見禎章	名木正昭	加藤保博	笠原武士	根馬和子	山口久子	剣持堅吾	大熊公平	西森頼夫	議決結果	
議案第2号	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	原案可決
議案第3号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第22号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
請願第1号	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	不採択	
請願第2号	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	趣旨採択

・賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。・荒木勝美議員は、議長のため採決には加わりません。・請願第2号は、趣旨採択に対する賛否を表記しています。



小川進一

問 保育士の処遇改善はどうか

答 保育に従事する人に総社市手当の創設を考えている

問 平成29年度に待機児童は発生するか。

教育長 園限定の希望者を除くと、4月は待機児童はいない。

問 保育士の確保はどうか。

教育長 全市的に保育士の確保には苦勞している。

市長 保育士の子どもは、保育所に優先的に入所可能とするようにしたい。

問 保育士の処遇改善はどうするのか。

市長 第1弾として、保育従事者に総社市手当の創設を考えている。議会と相談して全員に年額2万円を支給したい。

ふるさと納税について

問 平成29年度の目標は幾らか。

市長 15億円の収入を目指している。

岡崎亨一

問 内在的な障害や配慮が必要な方のためのヘルプマークの導入はどうか

答 導入したいと思う。全国での導入を市長会でも要望する

問 ヘルプマークについての認識はどうか。

市長 よく知っている。本市だけではなく、全国で広める必要があると思う。

幼・小・中のトイレについて

問 長寿命化計画の中で考えられる以前の答弁だが、その後はどうなっているか。

教育長 整備計画を作っている。総社北・秦・新本・維新の4幼稚園が小児用ではないので、対応を考える。

市長 トイレを全て洋式化すると7億円掛かる。劣悪な環境のものは対応する。

給食について

問 平成28年11月議会での240万円の赤字はどうなったのか。

教育長 野菜価格の低下に



皆に知ってもらいたいヘルプマーク

よって赤字補填する必要がなくなった。

問 生徒・教師の罹患状況はどうか。

教育長 小学生が680人、中学生が421人、教師が36人となっている。

問 中学校3年生へのインフルエンザワクチン受験生応援の助成はどうか。

市長 平成29年度中に事業化して、高校を受験する中学3年生を応援する。



高谷幸男

問 中小企業の支援を今後どのように考えるか

答 中小企業がほとんどなので最大限の努力をしたい

問 具体的支援策はどうか。

市長 ふるさと納税の有効活用、雇用の確保、金利負担をどうするかである。

問 ゼロ金利の時代から、設備資金等の借入れについて、金利負担の支援はできないか。

市長 融資保証について1.5パーセントの半分を市負担とする支援をしたい。

問 資金繰り支援のため、手形払いから現金払いへの転換は考えられないか。

市長 国の方針に基づき、少しでも早く支払う方向とする。

産業部長 色々な事柄があり、商工会議所等と協議したい。

鳥獣害対策について

問 スクミリンゴガイ(ジャポタニシ)からの被害防止及び被害の軽減のため、支援

名木田正昭

問 地域の活性化についてどう思っているのか

答 それぞれの地域の考えでも一体でやっていきたい

問 地域別に格差が大きくなっていないか。

市長 この10年間でかなり差が出てきた。人口減の地域には新たな政策を考えていく。

問 そうじゃ吉備路マラソンのフルマラソンのコースを西部地域に延長できないか。

市長 問題はあるが、西部地域活性化のために重要なので、検討していきたい。

西の吉備路正木山について

問 市の観光資源として位置付けての展開はどうなのか。

市長 観光正木山として行政としても力を入れてPRしていきたい。

問 総社西小学校の正木山登山について、どのように感じるか。

市長 正木山が総社のシンボル

ルだと思っ子どもたちがいる。改めて市のシンボル、観光資源として大いに発信していきたい。

教育長 今後とも地元の人たちにお世話になりながらやってほしいと思う。

問 回覧板チャンネルについて

問 大変良い動画になったが、番組内容を多少工夫していただき、本市中心の番組内容にしたいいただきたいがどうか。

市長 番組内容の見直しがあるが、今後は内容を改善していく。

チュッピーのその後について

問 チュッピーの効果はどうか。

市長 色々な波及効果は今も続いている状況である。



難波 正 吾

問 小児医療費助成の拡充はできないか

答 平成30年4月から中学1年生まで通院費を無料化する

問 「全国屈指の福祉先駆都市」、「子育て王国」を標榜する中、小児医療費助成の拡充は当然だ。市長の決断を求めらるがどうか。

市長 市長選挙で、中学3年生までの医療費無料化の検討を掲げた。医療費適正化委員会の意見を聞いて平成30年から中学1年生までの通院医療費を無料化したい。その後については検討したい。

問 中学生の入院費は、窓口で一旦支払った後、市に申請する償還払いだ。見直しが必要だがどうか。

市長 検討する。

高過ぎる国保税の引下げはできないか

問 国保税が高くて払えないとの声を聞く。県下の平均は、

根馬 和子

問 小児医療費公費負担制度は今までどおりで良いのか

答 来年4月から中学1年生までの通院は無料とする

問 小児医療費公費負担は中学1年生までと提示されたが、中学3年生までにはできないか。同じ治療で病院を複数受診しない等の規則を作れば良いのではないか。

市長 交付税総額が8億円減ってくるなど、厳しい財政状況となるので、まずは来年4月から中学1年生について始めていく。

問 子どもと親がともに遊び学べる施設はどのような状況か。

保健福祉部長 子どもは、一人遊びが中心で、親は相談や交流等をしている。

ふるさと納税について

問 ふるさと納税は、国がその意義や理念を掲げているが、その方向性に沿っているか。



山口 久 子

問 地域の空き家情報を出張所に集めることはできないか

答 空き家情報を出張所で集める方向で考える

問 地域の空き家情報を出張所に集めることができないか。

市長 地域の空き家の持ち主が出張所へ空き家を貸したいと届け出て、世話をする団体と市の部局との連携ができる方向で検討する。

問 空き家を貸すために一番のネックとなっているのは、家財道具の撤去である。どのような方法が考えられるか。

市長 現在、最高100万円までの定住促進助成金を出している。現行の補助金の中で解決してほしいが、移住対策促進室でのサポートも行ってほしい。

教育特区について

問 英語特区の状況はどうか。
教育長 38人が英語検定の各級が取得できている。また、

問 平成30年4月から中学1年生まで通院費を無料化する

答 平成26年度で8万2519円、本市は8万2787円で高い方から6番目だ。医療費は市町村平均3万5772円、本市は36万7292円で低い方から3番目で、市では1番低い。引下げはどうか。

市長 引下げは困難だ。平成30年度から国保制度が県移管化となり、県から市に標準保険料率を提示してくる。保険料不服への第三者機関や不満を言える場の設定を主張している。保険料率が出てきた段階で問題があれば、議会とともに県に物申していきたい。

問 短期被保険者証の発行、収納率はどうか。

市長 短期被保険者証は現段階で350人。収納率は平成27年度で93・08%だ。

問 地域の空き家情報を出張所に集めることはできないか

答 空き家情報を出張所で集める方向で考える

青山学院大学との連携も良い効果になっている。

問 幼稚園、小学校、中学校と連携しての成果はどうか。
教育長 5つの園校の連携はしっかりできていて、地域の人にもしっかり周知ができています。地域の人の協力もとても良い。

問 今後の課題をどのように考えているか。
教育長 高等学校と連携を取り、英語をいかしての進学が更に進むようにしていく。

小地域のつながりについて

問 地域の活動は積極的に取り組まれているか。

市長 自由枠交付金の中で、地域の防災訓練や地域行事などが行われている。

三宅 啓介

問 水道料金を改定する考えはあるか

答 平成34年までは、現行の水道料金を維持する

問 水道施設及び管の耐震化、老朽化の状況はどうか。

水道部長 水道管は総延長760kmのうち、95・7kmが耐震化の工事済みで、水道施設はまだである。老朽管は55・6kmあり、取替え工事を行っているが年々増加している。

問 水道事業会計の見通しはどうか。

市長 水需要は減少傾向にあり、年々厳しさを増す。県の水道事業団へ水を買ったり、ペットボトルで総社の水(チュップピーウォーター)を売ったりするなど収入アップを図り、市民の負担を増やさないよう努めたい。

問 水道事業の広域合併化の話があるが、どうか。

市長 水道事業の広域化は、



小西 義巳

問 新総社大橋へのアクセス道路の建設はどうか

答 秦・神在本線として平成29年度から工事着工する

問 新総社大橋へのアクセス道路についてどのような計画か。

市長 将来的には新旧の本道からサントピア付近までのルートを選定し、整備を行う。

問 新学校給食センターについて、災害時の食糧補給及びヘリポートの建設はどうか。

市長 災害時の拠点として、有事の際、炊き出しを行う。また、小型ヘリの離発着はできると判断している。

問 センターの水害に対する盛土はどうか。

市長 日照を含め、地元と協議しながら、水害に耐える施設にしていきたい。

小学校のトイレについて

問 小学校の男子トイレの洋式化はどうか。



南北道の整備が進められる西部地域



村木 理英

問 中心市街地の狭あい道路の整備はどうか

答 早急に重点整備路線を設定し、狭あい道路を拡幅する

問 総社駅東地区の狭あい道路拡幅のための後退用地・隅切り用地の確保、支障物件に対する考え方はどうか。

市長 助成金、奨励金を考える。

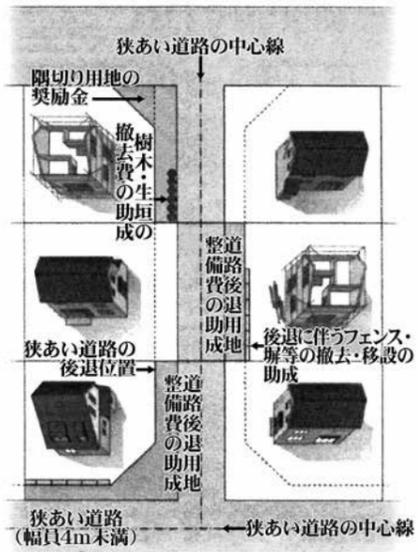
問 平成28年真菌類繁殖状況、監視業務結果をどう考えるか。

市長 未だ原因を特定できていない。今後徹底的に原因究明に努める。



1年ごとに真菌が繁殖し張り替えを余儀なくされるビニールハウス

狭あい道路拡幅事業概念図



萱野 哲也



問 平成29年度予算案に保育士の処遇改善策がないがどうか

答 保育士へ年額2万円の総社手当を創設する

問 昨年9月議会で保育士の処遇改善を訴えたが平成29年度予算案に反映されていない。

市長 岡山市や倉敷市では保育士処遇改善策が平成29年度予算案に盛り込まれている。総社市は大丈夫か。

市長 平成29年度予算案への提案遅れがあった。今後、予算については議会と相談していきたい。

問 年額2万円の手当は保育士の需要を把握したもののか。

市長 需要に基づいての額だ。

協定締結について

問 市長は協定の相手方との約束を守らなければならぬ立場にある。しかし協定の実施にあたり予算執行には議会の議決が必要だ。市長と相手方との協定締結では議会の裏

付けがないがどうか。

市長 今後、議会と相談していく。

吉備路マラソンについて

問 参加ランナーが増えているが、ボランティアやスタッフの負担が大きくなるのではないか。

市民生活部長 ならない。

問 ボランティアの協力の下、成り立つ大会なのでボランティアへのお礼賞のようなものは考えられないのか。

市長 いい考えだ。

問 招待選手が市民マラソンで本気で走って上位独占で賞品を得ていくのは問題だと思いませんか。

市長 大会運営として考えていく。

片岡 茂夫



問 鬼ノ城、砂川周辺の市道の拡幅整備はどう考えるか

答 狭あいな箇所があり、できるところから整備したい

問 鬼ノ城に行く市道が一部狭く、待避所も少ない。過去に何回も山林火災が発生している。拡幅の整備をしてはどうか。

市長 17か所の待避所の整備ができています。急峻な場所に待避所を作るのに、山を切ったり埋めたりする手法もあるが、自然公園で環境のこともあり、色々な団体等と協議して丁寧に進めたいと思う。

問 県管理の砂川に雑草雑木が繁茂している。県に雑草等の除去をお願いしてはどうか。

市長 砂川公園下流の平成橋付近から河川敷に雑草、雑木が生え、長良流通センター付近になると木も大きくなり、美観も損ね、環境等にも悪影響を及ぼしている。県に雑木



雑草が繁茂する砂川

吉備線LRT化について

問 LRT化について、新駅はどのようになっているか。

市長 LRT化は事業費が約190億円で、年間経費が約8億円と見込まれている。新駅案の案を早くから出すとLRT化の議論が進まなくなる。平成29年度内に素案ができるが、新駅は除いたものになる。素案ができれば、今後、新駅の話を出さなくてはならないと考えている。



西森 頼夫

問 働き方の改善は国会でも議論が行われている。本市の職員は正規、再任用、嘱託職員と様々だ。正規職員と非正規職員の給料の比率は何%か。また、期末手当や通勤手当の支給状況はどうか。

答 給与と報酬は勤務日数で差があるが手当は改善する

市長 嘱託職員の報酬は正規職員と比較すると約50%である。期末手当は一部支給されるが、交通手当は支給していない。それぞれの状況を点検して改善する。

少人数の室を増やすと仕事の効率が上がらないのでは

市長 最近、市の機構に新設の室が増えているが、課と室は幾つあるのか。そのうち課長が室長を兼ねている室は幾つか。

市長 市の機構に22課と7室

職員の仕事方で正職員と嘱託員に差が大きいがどうか

答 ある。課長が室長を兼務している室が2室ある。

市長 市が進めている仕事は市民に分かりやすいようにしたい。仕事の効率を下げないように工夫し、機敏に対応できるように努力する。

総務生活委員会

当委員会で審査した案件は、2月臨時会では議案1件、2月定例会では議案18件、請願1件であり、全て原案どおり可決しました。(請願1件は趣旨採択)

主な内容は次のとおりです。

●指定金融機関の指定について(議案第1号)

●2月臨時会

問 市民の利便性の確保のためにも、今後も継続的に指定金融機関の検証、評価を行ってほしいがどうか。

答 選定委員会の中でも定期的な評価、検証を求める意見があった。今後そのように行っていきたい。

問 4月1日での円滑な引継ぎは可能であるか。

答 会計年度当初からの引継ぎの方がスムーズであると考へ、4月1日の指定としたところである。

《2月定例会》

●教育長の任命に関する同意を求めることについて(同意第2号)

問 市民の中で、教育関係者、民間の人で適任者がいると思うが、考えはどうか。

答 市内在住者、教職員の経験を有する人も考えたが、山中榮輔氏のこれまでの実績を考えたときに、更に本市の教育行政を進めるうえでは、山中榮輔氏が教育長として最適であろうと判断し、同意案件を提出している。

◎以上のような質疑、答弁の後、西森委員から「4年前に総務文教委員会が附帯決議を全会一致で可決し、本会議でも反対なく全会一致であった。これに対する努力の跡が見ら

委員会の動き

2月 2日	議会運営委員会(2月臨時市議会の運営等について)
2月 3日	総務生活委員会(職員の定年等について)
2月 7日	産業建設委員会(上下水道料金基本料金の徴収時期の変更等について)
2月16日	文教福祉委員会(全国屈指の福祉先駆都市実現に向けた取組等について)
2月20日	議会運営委員会(2月定例会市議会の運営等について)
3月 3日	文教福祉委員会現地調査(総社市スポーツセンターの施設管理状況等の確認)
3月 8日	議会運営委員会(定期監査結果報告等について)
3月21日	全員協議会(定期監査結果報告等について)

れない。教育経験者を同意案件として出す努力が見られないため反対である」旨の反対討論があり、その後、笠原委員から「現教育長が就任してから、色々な備品や施設改修、校舎耐震化を予算とタイムリミットを合わせてオンラインで実行している。この手法は優れている。これから進めていく教育面のハード事業もたくさんある」旨の賛成討論があり、また、三宅委員からは、「現

教育長の実績をみたとときに、例えば『だれもが行きたくない学校づくり』で、不登校の出現率が減少している。また、英語特区等にも、他市の学校現場からたくさん視察が来ている。さらに、市教育委員会の事務に関する点検評価報告書でも非常に高く評価されている」旨の賛成討論があり、起立により採決を行ったところ、起立多数で同意すべきであると決定されました。

一般会計予算審査特別委員会総務生活分科会

●平成29年度一般会計予算(議案第22号)(所管部分)

問 市職員の時間外勤務手当が増加している。政府においても働き方改革を検討しているが、時間外勤務に対する考え方はどうか。

答 時間外勤務手当が年々増えている。職員数が足りていないと認識しており、今後5年間で職員を増やしていくという方針を固めたところであ

る。少しでも職員を増やすとともに、管理職が部下の業務を更に適切に把握し、残業を減らしていきたい。

問 若者人材育成事業の概要はどうか。

答 若者人材育成事業は、市内在住者の20代から40代の若者を対象に、総社の地域のリーダーになってもらえるよう、10人程度を2年計画で育成するもので、10年、20年先を見据えた事業である。1年目に基礎、2年目に実践という形で、2年間で実施する。

問 市庁舎北側駐車場整備について、市庁舎建て替え時に無駄にならないか。

答 新庁舎の配置が決まっていけないので、無駄になる可能性がないとは言えないが、庁舎建設に際しては、考慮していきたい。なお、駐車場の整備は、来庁者の安全のため、通路を確保して車両の出入りがしやすいようにするものである。

文教福祉委員会

当委員会で審査した案件は、2月定例会で議案10件であり、全て原案どおり可決しました。(請願1件は不採択)

《2月定例会》

●平成29年度総社市介護保険特別会計予算(議案第25号)

問 生活支援サポーターと生活支援コーディネーターの関係はどうか。また、生活支援サポーターは、他地区の人を望む意見もあるがどうか。

答 生活支援コーディネーターが仕組みを構築し、生活支援サポーターが自立して活動できるまでのサポート役を担っていく。生活支援サポーターのうち市内全域での活動が可能な人は約3割で、他は、自分の生活圏域や近所での活動を希望している。利用者と生活支援サポーターのマッチングは、生活支援コーディネーターを中心に行っていく。

一般会計予算審査特別委員会 文教福祉分科会

平成29年度一般会計予算 (議案第22号) (所管部分)

問 ひきこもり支援事業はどのように進めていくのか。

答 社会福祉協議会へ委託し、ワンストップ窓口の設置を予定している。まずは、民生委員や福祉委員、家族への周知を考えている。

問 ひきこもり支援事業の相談員2人の資格等はどうか。

また、相談員は公募するのか。 答 相談員については公募を考えており、臨床心理士や社会福祉士等の有資格者を考えている。

問 発達障害者支援コーディネーターを1名増員し、支援体制の強化を図るといことだが、相談対象者の年齢制限はあるか。

答 対象者の年齢制限は設けていない。子どもから大人まで相談可能である。 問 新規事業の重症心身障害

児者レスパイトサービス拡大促進事業補助金とはどのような内容か。

答 在宅の重症心身障害児者が利用できる短期入所のサービス事業を増やすことを目的とし、岡山県が県全体で進めている事業である。事業内容は、在宅での生活を継続していく上で、介護の負担軽減のために実施される短期入所の整備及び充実を図るために事業所へ補助をしようとするものである。本市には福祉型短期入所施設は3施設あるが、医療型短期入所施設はゼロである。医療型短期入所施設は市外にしかなく、近隣では倉敷中央病院等である。

問 子育て相談をメールでできるように実施する予定はないか。

答 顔の見える関係を大切にしているが、メール相談の必要性も感じていることから、実施する方向で検討している。

問 特別教育推進センターの

利用者は、傍聴を希望する議事が行われる会議日の原則1週間前までに、所定の申込書に申込者の氏名(団体名)、連絡先、傍聴議事、意思疎通手段、傍聴者数等を記入し議会事務局に申し込んでください。後日、会議日時、場所等を連絡します。

2. 利用方法

3. 利用の料金 無料

4. 申込み、お問い合わせ 議会事務局 Tel.0866(92)8332



新たに手話通訳・要約筆記に対応 ~行ってみよう 議会傍聴~

本市議会の傍聴者が手話通訳又は要約筆記の利用を希望する場合、手話通訳者並びに要約筆記者の手配をすることも、傍聴席を確保します。皆様の議会傍聴をお待ちしています。

1. 利用可能な会議 本会議、常任委員会、特別委員会(ただし、委員会での傍聴は、委員長の許可を得てからとなります。)

利用者は、傍聴を希望する議事が行われる会議日の原則1週間前までに、所定の申込書に申込者の氏名(団体名)、連絡先、傍聴議事、意思疎通手段、傍聴者数等を記入し議会事務局に申し込んでください。後日、会議日時、場所等を連絡します。

3. 利用の料金 無料

4. 申込み、お問い合わせ 議会事務局 Tel.0866(92)8332

ことによる。また、公共下水道使用料については、大黒天物産、シノブフーズなどの大型企業が接続したためである。

一般会計予算審査特別委員会 会産建設分科会

平成29年度一般会計予算 (議案第22号) (所管部分)

問 自然エネルギー等導入促進補助金はどのような内容か。 答 10アイテムの省エネ等の機器のうち新築については3つを付けると15万円、改修等については2つを付けると10

請願・陳情

Q&A 議会

●請願・陳情とは? 市民の皆様が、市の行政に関する意見や要望があるときは、どなたでも請願書、陳情書を市議会に提出することができます。請願・陳情は日本国憲法第16条に認められた国民の権利です。議員の紹介があるものを請願書、ないものを陳情書といいます。

●請願・陳情の審議の方法と結果 提出された請願書、陳情書は、議長が受理し、原則として、定例会で委員会付託のうえ、最終的には本会議で採決します。結果は、「採択」、「不採択」、「趣旨採択(趣旨は理解できる)」などがあり、結果は文書でお知らせします。採択した請願、陳情については議会は、その実現に努力する責務があります。 請願・陳情の提出方法、書き方などは、市議会ホームページや議会事務局などで御確認ください。 問い合わせ 議会事務局 TEL 0866 (92) 8332

通級指導教室が開始されるが、どのように進めていくのか。 何人が通級する予定なのか。 答 情緒障がい通級指導教室として、小学生が2クラス、47名が通級予定であり、県費の加配教員で実施していく。 また、幼児部についても実施予定である。また、相談機能の充実を図るため、教員のスキルアップを図っていく。

産業建設委員会 当委員会で審査した案件は、 平成28年度総社市公共下水道事業費特別会計補正予算 (第3号) (議案第18号) 問 公共下水道受益者負担金及び公共下水道使用料の増額の理由は何か。 答 公共下水道受益者負担金については、山手地区の新築が増えたことなどから接続が予想よりも上回って多かった

理委託料について、600万円を減額する理由は何か。 答 つるの家を365日開館していたが、土、日と要望があった日みの開館にすることにより、清掃等の人件費を下げたこと、また、自動車リースの見直しにより約600万円の経費を削減したためである。 問 きびじつるの里のタンチョウの移転についてどのような状況か。 答 現在メスが6羽、オスが4羽で、最近では減っていない。王子動物園での募集に応募し、最終選考まで残ったが落選した。また画家の先生から引受けの希望があるので、連絡を待っている。 問 有害鳥獣駆除委託料について、ジビエ振興食肉として地域振興も含めての対応を考えてはどうか。 答 高梁川流域や岡山市等との連携の中でも、ジビエの有効活用がテーマとなっている。

6月定例市議会の予定 日時 内容 6月8日(木) 開会 6月14日(水) 一般質問 6月15日(木) 一般質問 6月16日(金) 一般質問 6月19日(月) 一般質問・質疑 6月20日(火) 委員会 6月21日(水) 委員会 6月22日(木) 委員会 6月29日(木) 閉会 問い合わせ 議会事務局 Tel.92-8332

議長交際費執行状況 「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。 [平成29年1~3月分] 支出区分 支出年月日 支出金額 支出先等 お供 2/28 30,000 名誉市民生花 その他 2/7 2,100 議会フォーラム講師御礼 合計 - 32,100 - 4月からの累計 - 223,578 -

輪になって話そう 地域のこと 将来のこと

議員と市民の皆様との意見交換会(第8回)

趣旨

開かれた議会であるために、議員全員が少人数に分かれて公民館等に向向き、市民の皆さんと意見交換を行うとともに、活動報告を行う意見交換会を開催します。今回の意見交換会では、2月議会の概要報告を行った後、参加の皆様と議員が少人数のグループに分かれてワークショップ形式で意見交換を行います。事前申込みは不要でどなたでも参加できます。皆様のご参加をお待ちしています。

日時

平成**29**年**5**月**28**日(日)

午前の部 10:00~11:30

午後の部 14:30~16:00

会場ごとの出席議員と時間は下表のとおりです。



ワークショップ形式の意見交換

議員と市民の意見交換会 開催日時・会場

日時		会場	出席議員
5月28日 (日)	10:00~ 11:30	総合福祉センター	笠原、加藤、村木、高谷、小川、深見、三宅、荒木、難波、萱野
		昭和公民館	西森、山口、頓宮、名木田、赤澤、小西利、小西義
		山手公民館	剣持、根馬、岡崎、大熊、塩見、片岡、津神
	14:30~ 16:00	東公民館	頓宮、片岡、津神、難波、剣持、深見、岡崎、三宅
		西公民館	荒木、名木田、小西利、小西義、西森、山口、根馬、小川
		清音公民館	大熊、塩見、赤澤、萱野、笠原、加藤、村木、高谷

お問い合わせ 議会事務局 TEL 0866(92)8332 メールアドレス gikai@city.soja.okayama.jp

編集後記

2017年は60年に1度の十干では「丁」、十二支は「酉」、九星が「一白水星」の年です。

この年は、再生と始まりの年で、大きくステップアップできる年とも言われています。60年前の昭和32年の日本では、南極越冬隊が南極大陸初上陸しており、本市では農業委員会が設置され、旧総社郵便局局舎(現カルチャーセンター)が竣工されています。

2017年の時流を踏まえ、豊かな総社市を目指し、市長に対してのチェック機能を益々高め、提案を行ってまいりたいと思います。市民皆様のご意見をお待ちしております。(村木理英)

◆編集委員会のメンバーは次のとおりです。

委員長	頓宮美津子
副委員長	小川進一
委員	岡崎亨一
委員	深見昌宏
委員	高谷幸男
委員	村木理英
委員	根馬和子